



成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244東松ヶ丘7-1-306 TEL/FAX73-8313

生駒市議会トピックス

平成25年度一般会計予算案を修正可決

生駒市議会の3月定例会は、6日から25日までを会期として開催されました。一般会計予算案では、環境に配慮した住宅地開発業者に1戸当り100万円を交付する「スマートコミュニティ事業推進奨励金」5000万円、水道事業会計では、水道水PRのため市内施設2カ所へ給水器を設置する費用420万円をそれぞれ削除した修正案を市議会公明党を含む賛成多数で可決しました。

修正案が提出され、予算委員会での採決を前にして、山下市長は市のホームページなどに「政局がらみの不可解な動き」「議会は一部の議員が権勢を振るっている」など、議会の権限と機能を否定するような書き込みを行いました。それに対し議会として（一部議員を除く）、会期中に市長に対し抗議文を提出するという異例の事態となりました。

3月22日付の毎日新聞奈良版は、「市長がツイッターで採決に圧力」と報じました。

通学路の安全対策が大きく前進

危険箇所解消へ継続的仕組み検討

亀岡市での死傷事故など、児童が通学中に事故に巻き込まれる事例が相次ぎ、対策が急がれています。

公明党はいち早く、党内にプロジェクトチームを設置。安全確保のための取り組みを推進し、昨年、政府に対して2度の緊急提言を行いました。こうした動きを受け通学路の安全

対策が大きく動き出しました。

政府は昨年、全国で小学校通学路の緊急点検を行い、今年1月に約7万5000カ所での対策が必要と報告。このうち、約2万2000カ所ではすでに歩道のカラー舗装などの対策が実施済みで、残りの箇所についても平成24年度補正予算と25年

度予算のいわゆる15カ月予算を使って対策が講じられる予定です。

生駒市においては昨年夏、あすか野小を除く市内11小学校の通学路について、県と市の担当課、生駒警察、教育委員会、学校、PTAが参加して合同点検を行い、102カ所の危険箇所が抽出されました。そのうち86カ所

については具体的な対策が検討され、すでに16カ所については24年度中に対策が完了しています。（くわしくは市のホームページをご覧ください）



成田ともきはここに関し、3月議会では一般質問を行い、①今回の対策は25年度中にすべて完了予定②対策の進行状況は市のホームページにおいて随時公表する③今後、毎年度初めに危険箇所調査を実施するほか、継続的な仕組み構築を検討するなど、市の取り組みを確認いたしました。

成田ともきは、災害時の避難経路ともなる通学路の安全確保のため、今後も真剣に取り組んでまいります。（裏面に関連記事）

議会改革情報

市民懇談会を開催

2月2、3日（土、日）の両日、市役所4階大会議室など市内4会場において、市議会主催の市民懇談会を開催しました。2日間で計113名のみなさまにご参加いただきました。



市役所会場での市民懇談会のようす

議会基本条例制定に向けて作業が佳境に

本年6月の（仮称）議会基本条例制定に向けて、作業が急ピッチで進められています。条例素案の作成作業はほぼ終了し、4月27日（土）13時から市役所4階において説明会を開催する予定です。

市議会公明党 活動トピックス

平成24年度市議会公明党の主な実績

- ①住宅用太陽光発電システムと雨水タンクの設置補助拡充を推進
- ②期日前投票の宣誓書記入を自宅などで事前に行える制度への改善を推進
- ③市営体育施設の料金收受方法について取消時に返金する制度への変更を推進
- ④事業系ごみ処理手数料の適正化を推進
- ⑤市役所1階の市民課窓口フロアマネージャー（受付相談員）の配置を推進
- ⑥女性の視点を活かした避難所運営マニュアル作成を推進

25年度もみなさまの声を反映
するため粘り強く取り組みます

車いすダンス日本チャンピオン
一行が本市を表敬訪問

3月27日、パラリンピック正式種目に承認された、車いすダンスの日本チャンピオンで、本市出身の鈴木剛（ごう）選手一行が本市を表敬訪問されました。

鈴木選手がんばれ！全力で応援します！



成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

検索

自由自在

日本中が沸いたWBCが終わり、ファンの興味はプロ野球と米国大リーグのシーズンへ。今年、大リーガーとして開幕を迎えた日本人は岩隈、イチローなど11人。夢叶えた達人たちの皆に希望を与える活躍に期待するとともに、次元は違えども自身もかくあれと決意。それにしてモダル、惜しかったー！（智）

学校生活に
おける安全
について平成25年3月議会
一般質問（要旨）通学路の
安全対策について

登校中の児童の列に自動車が出っ込み、児童や保護者が死傷する事故が相次いで発生したことを受け、国土交通省文部科学省および警察庁は、全国の小学校通学路の緊急合同点検を実施し、本年1月その取組状況を公表しました。本市も市公式ホームページに「通学路の緊急合同点検結果の公表について（報告）」として公表しています。

その内容に沿って、今後順次、危険箇所対策が実施される予定ですが、今回の点検内容および通学路の安全対策について、本市の取り組みを質しました。

答

市、郡
山土木事
務所、生駒警
察、学校、市
教委、保護者
代表が参加し
て、各小学校
から提出され
たアンケートの危険箇所を中
心に徒歩で巡回した。その後、
小学校の校長などから説明を
受けて対策について意見交換
し、参加者が対策案を書き込
んだ調査シートをもとに、結
果をとりまとめた。



問

どのような方法で
点検を実施したのか。
また、対策はいつまでに
実施されるのか。

今回実施する対策は、道路の路面標示、ガードレール、カーブミラーなどが主であり、平成25年度中に全て終了する予定である。

答

今後、学校は
毎年度の初めに
保護者や地域の方々と通学路
を点検し、危険箇所を市教委
に報告。市教委は市の関係課
や県、警察等各機関と相談し
て危険箇所の解消に努めるな
ど、持続可能な仕組みとする

問

通学路の安
全確保には
継続的な取り組み
が欠かせない。今
後どのように取り
組む考えか。

体罰について

問

体罰に関するアン
ケートはどのように
実施されるのか。

答

児童、生徒に不利益が
及ぶことがないよう十分
配慮する。調査結果は県教委
に報告するとともに公表する。

よう検討していきたい。
また、集団下校の実施、定め
られた通学路での登下校の徹
底、こども110番の家などの
緊急避難場所の周知のほか、
PTAや地域の協力を得て見
守り活動などを行っており、
今後も、交通安全教室などを
通じ安全教育の充実と拡充に
努めたい。